

Masuko Newsletter



特定医療法人衆済会 増子記念病院 ニュースレター Vol.7

当院の腎移植科について

私たち腎移植外科の目標は、腎疾患専門病院である増子記念病院の「質の高い透析チーム医療経験」を生かし、腎移植患者（レシピエント）さんに、より長く充実した健康生活を全うして頂くことです。また、移植腎を提供されたドナーさんに、生活指導を含めた腎摘出術後の残腎機能管理を継続して行い、長く元気で生活していただくことです。

～増子記念病院における腎移植診療の歴史～

1974年:中部地方最初の献腎移植実施／ 1997年:名古屋第二赤十字病院の腎移植患者さんを中心にした、名古屋第二赤十字病院非常勤腎移植医による腎移植外来開始／ 2005年:常勤の腎移植外科医・レシピエント移植コーディネーターによる、常設の腎移植フォローアップ施設としてステップアップ／ 2011年:増子記念病院での初回生体腎移植術実施／ 2012年:小児腎疾患専門病院から当科への転院（移行期支援）受け入れを開始

◆外来診療について

2名の常勤腎移植専門医・1名の専任移植コーディネーターを中心とし、名古屋第二赤十字病院移植外科・内科、愛知医科大学外科講座腎移植外科からの非常勤の移植専門医による週4日（月・木・金・土）の常設腎移植外来を開いています（通院腎移植患者数；約350名）。加えて、院内の腎臓内科、泌尿器科、消化器内科、糖尿病内科、循環器内科、神経内科、皮膚科、眼科とも協力し、腎移植に関する専門的かつ総合的な診療を行っています。

レシピエントがより良い生活を長期間送り続けるためには、免疫抑制剤を継続して内服する必要があるため、シクロスポリン・タクロリムス・ミコフェノール酸モフェチルなどの免疫抑制薬の院内濃度測定による適正な薬物濃度モニタリングを行い、感染症、生活習慣病ならびに悪性疾患対策を継続することが大変重要です。

また、生活習慣病対策として、高血圧症・高コレステロール血症・肥満・骨粗鬆症・認知症などの管理を薬物療法だけでなく、管理栄養士による食事療法や理学療法士による運動療法も取り入れながら継続的に行っています。更に、悪性疾患対策も、診療ガイドラインに準じた諸検査をスケジュールに沿って確実にを行っています。

◆スタッフのご紹介

<常勤>

打田 和治 腎移植科 部長 医師
西平 守邦 腎移植科 医長 医師
安田 香 腎臓内科 部長 医師
植木 常雄 泌尿器科 部長 医師
山上 孝子 レシピエント移植コーディネーター

<非常勤医師>

- 名古屋第二赤十字病院 移植外科・内科
渡井 至彦／鳴海 俊治／後藤 憲彦／辻田 誠
- 愛知医科大学 腎移植外科
小林 孝彰／堀見 孔星／松岡 裕
- 藤田保健衛生大学 臓器移植科 伊藤 泰平

